

後援会だより



春の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭実行委員長
保育科2年
宮田 理花



今年は木の花ドームで1日開催で行わせていただきました。新体制になって初めての大きい行事で、さらに今年は半日でなく1日で行うことを決め、みんなで話し合いを重ねながら企画しました。迎えた当日では思った通りにいかないこともあり、無事終わることができるかドキドキしましたが、皆さんが楽しんでくれている様子を見て、とても安心しました。準備から当日までご協力くださった学生の皆さん、先生方ありがとうございました。

「夕涼み会」を終えて

夏の忍ヶ丘祭実行委員長
保育科2年
齊藤 壮汰



春の忍ヶ丘祭が終わり、夏の夕涼み会に向けて新しく学友会に入った新メンバーを加え、話し合いを行いながら試行錯誤してきました。今年も昨年と同様に模擬店を実施しました。準備から当日までスムーズにいかないことがありましたが、多くのサポートがあり夏の忍ヶ丘祭「夕涼み会」を実施することができました。当日参加くださった先生方や学生が美味しそうに食べている姿が見られ安心しました。今年は、途中で悪天候となり中止となってしまったため、少し残念で悔しい気持ちになりましたが、参加してくれた方々の笑顔を見れたので良かったです。協力してくださいました先生方、代議員、学友会メンバー、ありがとうございました。

現在の就職状況

キャリア教育センター

本年度の就職状況は、企業の積極的な採用を受け、売り手市場になっております。また、ここ数年就職活動は早期化・長期化になっており、県内でも金融機関を始め多くの企業が採用予定数を充足せず、秋募集等を行っている状況です。

(7月末、採用選考を終了した国内企業22%)

現代ビジネス科の学生は、3月の合同就職説明会から就職活動が始まり、長期戦になっていますが、順調に内定をいただいております。現在、銀行・ホテル・小売業等の業界で内定しており、秋以降、公務員・医療事務を希望している学生に動きが出てきます。前述しましたように、採用予定数を充足していない多くの企業が募集していますので、全員が内定するよう継続して指導してまいります。

保育科・専攻科の学生については、求人票の情報だけで判断せず、夏期休暇に希望する園での自主実習を行い、総合的に判断し、採用試験を受けるよう指導しておりますので、10月以降の内定ということになると思います。

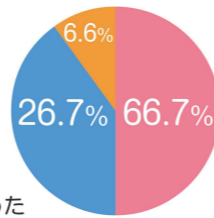
今後、全員の採用決定に向け、邁進してまいりますので、ご家庭でも学生へのサポートをよろしくお願いたします。

保護者会について

学生部

本年度も令和7年6月7日(土)、本学に在学する全ての学生を対象に、後援会総会、並びに保護者会を開催いたしました。理事長をはじめ、学生部や教務部、キャリア教育センターからの話を通じ、学内での学生生活の様子や就職に向けての取り組みが伝えられました。参加いただいた保護者の方からのアンケートにも「有意義であった」との回答が寄せられ、具体的には「教育方針や進路の状況を確認することができてよかった」、「どういった施設で勉学に励んでいるのか、見ることもでき、クラス会では保護者間の交流もでき参加してよかった」などのご意見をいただきました。保護者の皆様のご参加、本当にありがとうございました。

- 大変有意義であった
- 有意義であった
- どちらとも言えない
- 有意義ではなかった
- 全く有意義ではなかった



ミヤタンでの学びのために

後援会会長 武田 幸一



日頃より、宮崎学園短期大学後援会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。保護者の皆さまのご支援があってこそ、学生は安心して学びに取り組み、日々成長を重ねることができております。

「ミヤタン」の愛称で親しまれている本学は、保育・福祉・ビジネスの三分野を柱として、地域社会で活躍できる人材の育成を目指しております。学生たちは、講義での学びに加え、実習や地域との交流を通して、多くの経験を積んでいます。その中で、仲間や地域の方々との関わり合いながら、自らの力を磨き、将来に向けて確かな歩みを進めています。

後援会といたしましては、そうした学びを陰ながら支え、学生が安心して学生生活を送れるよう努めてまいります。また、皆さまとのつながりを大切にしながら、大学と保護者、そして地域の架橋になれるよう取り組んでまいります。

結びに、学生一人ひとりが夢を実現し、地域で輝く人材として成長されますことを心より願っております。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

学長挨拶

学長 山下 恵子



4月より学長に就任しました山下恵子です。どうぞよろしくお願い致します。私は、短大に勤務し37年目になります。その間、遊びと音楽、表現、音楽療法等を担当してきました。短大の教員としてたくさんの学生と出会い、学びを共にできましたことは、私の宝です。そして、今、学長として、全学生が「自分の成長を実感でき、本学に入学して良かった」と思ってもらえる学びを提供していくことが役目であると思っております。

さて、後援会の皆さまには、武田幸一後援会会長様をはじめ、深いご理解のもと本学運営をお支え頂いておりますことに心からの感謝を申し上げます。日々の学生の学びは、非常に凝縮された充実したものです。授業のみならず、実習、地域連携、学友会活動等、学生の姿は実に生き生きとしています。特に、オープンキャンパスでは、キャストとして運営全般を担い、活躍する学生の姿は、優しさ、一生懸命さが溢れています。オープンキャンパスで見せてくれる先輩としての素晴らしい姿に多くの高校生が憧れを持っています。この姿を見る度に、本学学生を誇らしく思います。

本年10月、いよいよ創立60周年を迎えます。卒業生は2万1千人を越えました。第1期生は、まもなく80歳を迎えられます。青春時代を共にした学友は、生涯の友として長くお付き合いしているとお聞きしています。学生たちが、それぞれの夢に向かって果敢に挑戦し、自分の力で社会への第一歩を踏み出せるよう、これからも充実した学びを準備してまいります。保護者の皆さまの、お力添えをどうぞよろしくお願い致します。

令和7年度後援会役員一覧

役職名	氏名	学科 / 学年	役職名	氏名	学科 / 学年	役職名	氏名	学科 / 学年
会長	武田 幸一	保育科2年	理事	大坪 祥子	副学長兼教務部長	会計	篠原 明美	現代ビジネス科1年
副会長	上田 晶子	専攻科	理事	井上 浩義	保育科長	会計	袁 部 初	総務部次長
副会長	木村 匡登	学生部長	理事	湯地 寿	事務局長	監査	小牟田 啓子	現代ビジネス科1年
顧問	山下 恵子	学長	理事	山田 秀人	入試広報部長	監査	江口 安代	保育科1年
理事	松永 喜代美	現代ビジネス科2年				書記	佐々木 敦子	保育科2年
理事	田村 和恵	保育科1年				書記	西川 真由美	保育科2年



輝ける忍ヶ丘(学生の成長)

実習に臨むにあたり

私は、11月に幼稚園へ教育実習に行きます。これまでの学校の授業や実習で培った知識やスキルなどを存分に発揮できる良い機会だと思います。私が持っている力をどれほど活かせるかは分かりませんが、ご指導いただく先生方や子どもたちとの関わりを通して、たくさんの学びを得たいと思います。何度か実習を経験しましたが、まだまだ慣れることができず、不安や分からないことがたくさんあります。しかし、「分からない」をそのまましておくのではなく、積極的に先生方に質問をしていき実習で学べる知識や経験の幅を広げていきたいと思っています。そして、この教育実習での経験が自分の自信へのプラスにできるように精一杯頑張ります。



保育科2年
鈴木 光咲

施設実習を終えて

私は障がい者支援施設「うからの里」で実習をさせていただきました。実習では、軽度から重度まで様々な知的障がいを持つ方々と関わることができました。一人ひとりの個性や障がいの特性を深く理解し、コミュニケーションを重ねることで、利用者の方々の信頼関係を築くことの大切さを学びました。特に、利用者の方一人ひとりに合わせた支援が必要であり、決して同じ支援ではないということを実感しました。また、支援員の方々は「できないこと」を細かく分けて達成を目指す「スモールステップ」の支援方法を教えていただきました。この経験は、将来保育士として働く上で、子どもたち一人ひとりの発達や特性に合わせたサポートを行うための大切な土台となると思います。今回の実習で得た学びを活かし、これからも日々学びを深めていきたいです。



保育科2年
竹田 愛梨

医療機関実習IIに向けて

2月の医療機関実習Iでは、座学で学ぶことのできない実務内容を体験させていただき、多くの学びを得ました。医療機関実習IIでは、「これまでに学んだ知識をさらに深め、医療現場で活かし、理解をより深める」という目標を立てています。特に、臨機応変の対応は就職後には欠かせない現場力だと痛感しており、この実習でぜひ身に着けたいと考えています。同時に、メモをとる、挨拶を欠かさない、疑問に思ったことは積極的に質問する等、今一度初心にかえて、自らの課題を見直し、最後の実習に望みたいと決意を新たにしています。患者さんやスタッフから信頼される態度を常に心がけ、実りのある実習になるように努力を続けたいと思います。



現代ビジネス科2年
竹迫 結菜

企業実習に向けて

今回の企業実習では、住まいのリノベーションやリフォーム、店舗・オフィスデザインを手がける株式会社アーム様で5日間お世話になります。私はもともとインテリアや空間づくりに興味があり、お客様のイメージや要望をデザインし、形にしていく過程を学べることをとても楽しみにしています。また、実習期間中には実際の現場の見学や、イベントにも参加させていただく予定です。初めての实習で緊張もありますが、業務内容だけでなく会社の雰囲気も感じたいと思っています。勤労・礼節の授業で学んだマナーや精神を意識し、失礼のないように行動したいです。この経験が自分の成長と将来の進路選択に良い影響を与えられるよう、前向きに取り組みたいです。



現代ビジネス科1年
谷村 咲季

安心感を提供できる福祉人材になりたい

2回目となる6月の介護実習は、施設入所者様の情報整理が大きな目標でした。会話をとおして人間関係を築けるよう臨みましたが、耳の不自由な方や構音障害のある方などが多いことに気づき、コミュニケーションへのとまどいと共に高齢者の特徴を知ることができました。言葉でのやり取りに問題を抱えた方々などのように接すればいいのか考え、折り紙をしたり洗濯物を一緒に整理したりしました。活動が終わる頃になると利用者様が笑顔で会釈をしてくださり、私はとても嬉しく心の距離が縮まったように感じました。この経験から、会話だけが人間関係を築く方法ではなく、同じ時間や空間を共有し寄り添うことでも深められることを学びました。今後も日常の見守りや生活支援を通して、安心感を提供できる福祉人材になりたいと思います。



専攻科(福祉専攻)
成枝 さくら

教員からのご挨拶

時代に合わせて、一人ひとりに合わせて

「子ども主体の保育」への転換が求められている近年、保育科では学生の保育の専門性を高め、時代の求める保育に対応できる人材を育成するため、学生そして教員に対して様々な研修や講演会を行っています。また、令和6年度より3年課程がスタートし、今年度は80名の学生が3年課程に入学し、自分のペースで学びを進めています。午後の空いた時間には、保育現場でのアルバイトや、ボランティア活動などを行い、大学での学びを深め成長に繋げているようです。従来の2年課程においても、令和7年度後期からは「キッズビジネスコース」が誕生し、保育者以外の子どもと関わる仕事を目指す学生へのビジネススキルの獲得を支援する体制も整えました。他にも、海外留学を考える学生が、国の「世界展開力強化事業」を利用し、米国への留学生として選出されました。地域と連携しながら、未来を創る「保育」という職業の魅力発信し、時代にそって一人ひとりに合った教育に、これからも教員一同取り組んでまいります。



保育科長
井上 浩義

新たな学びのステージへ

現代ビジネス科では社会の多様なニーズに応えるため、新たに8つのコースがスタートしました。「ソーシャルメディアデザイン」「情報・クリエイティブ」「観光・ホスピタリティ」「司書・オフィスワーク」「メディカルマネジメント」「経営・マーケティング」「異文化コミュニケーション」「グローバルコミュニケーション」の各コース科目を横断的に選択できる教育課程を編成しました。学生は関心や将来の目標に応じて専門性を深め、変化する社会に対応できるビジネス実践力を身に付け、社会で活躍できる力を養います。さらに、地域企業や行政との連携、宮崎大学などとの共同事業「SPARC」にも参画し、地域に根差し信頼される人材の育成を積極的に進めています。



現代ビジネス科長代理
川越 勇二

積み重ねた歴史への「信頼」に感謝

介護福祉士養成校1年課程として1998(平成10)年に設置された専攻科(福祉専攻)は、今年度をもって幕を閉じるはこびとなりました。累計983人の修了生が介護福祉士国家資格を取得されたこととなります。最終年度の28期生24人を迎え、7月には2回目の実習を終えました。慌ただしくも着実に実践力を身につけ、学習者としての落ち着きを感じるようになっていきます。また、公立保育所への内定を皮切りに、子どもから高齢者ならびに障がい者福祉への就職活動も始まっています。多様性に対応できる人材として多くの施設関係者様から期待の言葉をいただくことが感慨深く、積み重ねた歴史への「信頼」だと感謝するばかりです。社会人となる学生の自己実現に向け、さいごまで丁寧支援してまいります。



専攻科(福祉専攻)主任
桑迫 信子

新任教員紹介

<p>保育科 薄井 淳</p> <p>保育科で造形表現を担当しています。以前は小学校で図画工作専科を担当していました。子どもは楽しいこと、不思議なことがキラキラ輝きます。本学の学生との関わりから、それは年代問わず変わらないことを実感しました。そのような輝かしい時間を大切にできる保育士を育てたいと思います。</p>	<p>保育科 桐明 里美</p> <p>主に特別支援教育を担当します。子どもの困りを敏感に察知し寄り添える多角的な視点や、子どもの育ちやすい環境設定のあり方を模索する態度だけでなく、学生一人ひとりが自分の個性を生かし大切に作る姿勢と、協力して課題解決していくおもしろさを伝えられたらと思います。</p>	<p>保育科 村上 和巖</p> <p>保育科の村上和巖と申します。昨年度までは大学院生として研究をしてきました。主に、教育学関係の科目を担当させていただいております。「保育者という職業が社会的に何を意味するのか」といった視点で、学生の皆様が保育・教育を考えることができるように授業をしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。</p>	<p>保育科 江田 菜穂子</p> <p>保育科の江田菜穂子と申します。大学卒業後、幼稚園教諭として勤務し、その後大学院修士課程を修了しました。主な担当科目は「保育内容人間関係の指導法」「子どもと健康」「教育課程論」です。自身の保育実践経験を生かして、学生が保育の魅力に気付くような授業を展開し、質の高い保育者養成に尽力してまいります。</p>	<p>現代ビジネス科 長島 洋介</p> <p>本学では「観光・ホスピタリティ」「異文化コミュニケーション」「グローバルコミュニケーション」の3コースの科目を担当しています。私が海外で培った学習勤務経験を軸に、受講者には国際的異文化知識と言語知識をはじめ、自発力やコミュニケーション力を兼ねそろえた国際社会で対応できる人材育成を心がけています。</p>
---	---	--	--	--